

# 平成30年度 学校経営方針

篠山市立 今田小学校

## 【学校教育目標】

ふるさと今田を誇りに思い、  
自立して未来に挑戦する今田っ子を育成する  
～ 「学ぶ姿勢」 「学ぶ喜び」 「学ぶ意欲」 ～

### 「誇り」とは

ふるさと「今田」の自然・文化について深く理解し、自分を支えてくれる人々への感謝の思いを持ちながら、地域とともに歩もうとする心と態度を持つこと

### 「自立」とは

学ぶことの意義を知り、発達段階に応じた目標や夢を持ち、その実現に向けて努力することによって、自らの将来を切り拓く力を持つこと

### 「挑戦」とは

失敗を恐れずにチャレンジする心、困難なことにもくじけない強い心を持つこと

## 【学校経営の基本方針】 ～全ては「信頼関係」から～

子ども・保護者・地域との信頼関係、さらに教職員相互の信頼関係があって、はじめて学校教育目標は実現できる。そして信頼関係は「対話」と「行動」から築かれる。

### ①篠山市教育大綱、篠山きらめき教育プランに基づいた教育活動を推進する。

大綱の基本方針「ふるさと教育」「地域に開かれた学校」「学力の確立と向上」「スポーツに親しむ」「篠山の文化を育む」「あいさつと生活習慣」を意識し、全ての教育活動の中で実践する。

### ②地域や保護者と連携しながら、事故やけがのない安全な学校づくりを進める。

地域住民や保護者との協力体制のもと、登下校指導、安全点検を徹底する。また、授業や訓練を通じて、児童に「自分の身は自分で守る」という意識と能力を培う。

### ③組織的できめ細やかな生徒指導体制を確立し、いじめや不登校のない学校づくりを推進する。

全ての子どもを全ての教職員で育てるために情報交換を密にし、組織的な生徒指導（共通理解・共通実践）を徹底する。また、「いじめアンケート」と「子ども個人懇談」を毎学期行うことで、課題の早期発見・早期解決を図る。常に児童の声に耳を傾け、人間的なふれあいに基づき、子どもの心に寄り添う生徒指導を進める。

### ④「わかる授業」「達成感のある授業」を展開し、子どもに学ぶ喜びを感じさせる学校づくりを進める。

学習の基礎となる「読むこと」に重点をおいた研究を行う。あわせて「書く活動」「話し合う活動」を授業の中に積極的に取り入れ、主体的・対話的で深い学びを進める。基礎基本の力を定着させるため、家庭学習の課題を工夫し、予習や復習の仕方など個々にあった学習方法を徹底指導する。また、学期ごとに課題テストを実施することにより、目標を持って学習する姿勢を身につけさせる。

### ⑤今田地区の自然・文化・人を活用したふるさと教育に積極的に取り組み、「ふるさと今田」が大好きで、地域に貢献したいという意欲を育む。

今田の自然・文化・人に学ぶことによって、地域に対する理解を深め、「ふるさと今田」を愛する心を育む。校外学習やゲストティーチャーを活用するなど、体験的な学習に力を入れる。また、学校運営協議会とともに「ふるさと講演会」を開催するなど、地域とともにある学校づくりを進める。さらに、教職員も地域住民の一人として、地域を知り、人とのつながりを大切にしながら教育活動にあたる。

## 【目指す児童像】

**「学ぶ姿勢」「学ぶ喜び」「学ぶ意欲」を持つ子ども ～自然・文化・人に学ぶ～**

「学ぶ姿勢」

授業を大切に、当たり前のことが当たり前にできる子ども（授業規律・あいさつ・清掃・時間）

「学ぶ喜び」

学びの中で自分の成長を実感し、互いに意見や考えを出し合い、ともに伸びようとする子ども

「学ぶ意欲」

発達段階に応じた目標や夢を持ち、その実現に向けて具体的な努力ができる子ども

## 【目指す学校像】 「楽しく 厳しく 今田小学校」

○子どもにとって、「早く行きたい」と思える学校

信頼できる仲間や教職員に囲まれ、思い切り挑戦できる、成長が実感できる学校

○保護者にとって、安心して子どもを任せられる学校

安全で安心な学校、気軽に相談にのってくれる教職員、信頼できる教職員がいる学校

○地域から信頼され、応援してもらえる学校

ふるさと今田が大好きな子どもを育てる学校、地域とともにある開かれた学校

○教職員にとって、やりがいのある学校

勤務時間の適正化をはかるとともに、教職員が互いに信頼し合い、それぞれの持ち味を生かしながら協働できる学校

## 【目指す教職員像】 「子どものことが大好き！」

○「チーム今田小学校」の一員として自らの職責を果たす教職員

○情熱と愛情を持ち、率先垂範し、自らの信念を子どもたちに一生懸命語る教職員

○教育のプロとしての誇りを持ち、自らの資質や能力を高めようとする教職員

○進んで地域に出向く行動力を持ち、礼儀正しく、さわやかな接遇ができる教職員

○視野を広げ、人間力を高めるために、自らも新たなことに挑戦する姿勢を持つ教職員

## 【本年度の重点目標】 「挑戦から自立へ」

①発達段階に応じたあこがれや目標、夢を持ち、具体的に努力する態度を育てる。そしてそのことにより児童の自立を促す。（キャリア教育の充実、「生き方探究朝会」の実施、年間・長期休業中の「挑戦」等）

②コミュニティスクール事業を核に、職員・保護者・地域住民の連携を強め、今田小学校ならではの特色ある教育を推進する。（日本遺産、地域の特色、「サギソウ」[学校のヒーロー]）を活用したふるさと学習を推進する。）

③「読むこと」の指導について研究し、読み取る力をつける。あわせて「書く活動」「話し合う活動」を積極的に取り入れた授業を展開し、主体的・対話的で深い学びを追求する。また課題テストの実施により、目標を持って学習する姿勢を育て、学力の向上を目指す。さらに個に応じた家庭学習の方法を丁寧に指導することにより、学習習慣の定着と基礎・基本の力を伸ばす。

④いじめを絶対に許さないという確固たる方針のもと、子どもの心に寄り添った組織的な生徒指導を進め、全ての子どもがいきいきと生活できる学校づくりを進める。

（定期的なアンケート、子ども個人懇談、ノート指導、校内巡視等で、子どもの発するサインを敏感にキャッチするとともに子どもの声に耳を傾け、保護者との情報交換を密にしていく。）

⑤個に応じた適切な指導・支援ができる特別支援教育を充実する。

（コーディネーターを中心に、全職員で情報交換しながら、よりよい支援体制を構築していく。）

⑥「特別の教科 道徳」の時間と学校生活全体で行う道徳教育を充実させ、豊かな心を育て、道徳的判断力・心情・実践意欲と態度力を育てる。（「人権朝会」の定期的な実施）

⑦外国語および外国語活動について、学習指導要領の完全実施に向けて移行措置を含めて準備を進めていく。

⑧体育の時間をはじめ、外遊びや体育的行事の充実をはかり、児童の体力向上に努める。